

JAPEX

石油資源開発
ビジネスレポート

2012 秋・冬号
2012年4月1日～2012年9月30日

JAPEX
BUSINESS REPORT

石油資源開発株式会社

証券コード：1662



Top Message

事業環境について

当社は、2011年5月、中期事業計画を発表し、「E&P事業」、「国内天然ガス事業」、「環境・新技術事業」の三つを事業拡大の柱に掲げ、これらを着実に進めているところです。

当第2四半期連結累計期間（以下、当中間期）における進捗ですが、まず、海外では、インドネシア・カンゲアン鉱区のテラン・ガス田において、天然ガスの商業生産を開始いたしました（5月）。カナダのオイルサンド事業では、現在の日量6～7千バレルの生産規模を最大3万バレルに拡張する開発投資の最終意思決定にむけ準備を進めています。また、イラク・ガラフ油田においても来年の生産開始にむけ鋭意作業が進められております。

他方、国内では、北海道・勇払（ゆうふつ）油ガス田と新潟県・片貝（かたかい）ガス田の周辺において探掘井を掘削し、いずれも当中間期中、原油・天然ガスの産出テストにおいて成功をおさめました。

勇払油ガス田に係る事業用資産の減損損失の計上について

当社は、10月26日開催の取締役会において、当中間期に勇払油ガス田の資産価値再評価に伴う特別損失を計上することを決議し、対外公表させて頂きました。

1996年に石油・天然ガスの生産を開始した同油ガス田につきましては、この間、安定供給を図るべく勇払LNG受入基地を建設するとともに、“STS (Ship-To-Ship)”と呼ばれる、外航船と内航船との間でLNGの積み替えを行う体制を整える

< 表紙写真について >

当社は、新潟県小千谷市に位置する片貝ガス田において、2012年4月から探掘井^(※)「片貝SK-29D号井」及び「片貝SK-29D-1号井」を掘削してきました。9月に産出テストを行った結果、日産量約29万m³の天然ガスの産出に成功し



ました。表紙は、産出テストの際の写真です。今後は、今回のテスト結果に基づいて評価作業を実施し、本井からの生産開始に向けた準備を進める予定です。

(※)探掘井：既に石油・ガスが発見された地質構造において、油・ガス層の広がりや諸特性を確認するために掘られる坑井のこと。

(2012年9月撮影)

CONTENTS

Top Message	1
JAPEXの事業展開	3
JAPEX NEWS	4
特集	
秋田・女川層タイトオイルの実証試験について	5
連結財務諸表	7
会社概要	9
株式の状況	10

見通しに関する注意事項

この「石油資源開発ビジネスレポート」に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

株主の皆さまには、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
2013年3月期第2四半期連結累計期間における当社事業の概況等につき、ここにご報告申し上げます。

代表取締役社長 代表執行役員

渡辺 修



ことにより、冬期のピーク対応に万全を期してまいりました。

しかしながら昨冬、油ガスの産出に伴う水の量が従来の想定を大幅に上回ったため、本年6月から、生産能力の再評価を行った結果、同油ガス田の生産能力が相当程度低下していることが判明し、今後の生産量見通しの下方修正が必要となりました。

この新たな生産量見通しに基づき、同油ガス田の将来のキャッシュ・フローを算定したところ、その額が固定資産の帳簿価額を下回る結果となったため、「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、帳簿価額を将来キャッシュ・フローの現在価値まで減額し、370億円を減損損失として特別損失に計上することといたしました。

ただし、このことは、勇払油ガス田の資金収支がマイナスに転じたことを意味するものではありません。当社は、今後とも同油ガス田の長期に亘る効率的な操業継続を目指すとともに、周辺エリアの探鉱・開発の推進や勇払LNG受入基地の更なる活用を図ることなどにより、北海道を含む国内天然ガス事業の供給安定性と競争力の強化を図ってまいります。

経営成績について

当中間期における売上高は、前年同期比13億円増収の1,059億円となりました。支出面では、国内および海外での探鉱費が増加したことなどで、営業利益は前年同期比44億円

減益の17億円となり、経常利益は同じく48億円減益の30億円となりました。そのうえで、勇払油ガス田に係る減損損失370億円を特別損失に計上したことなどにより、前年同期比307億円減益の純損失244億円を計上いたしました。

株主の皆さまへ

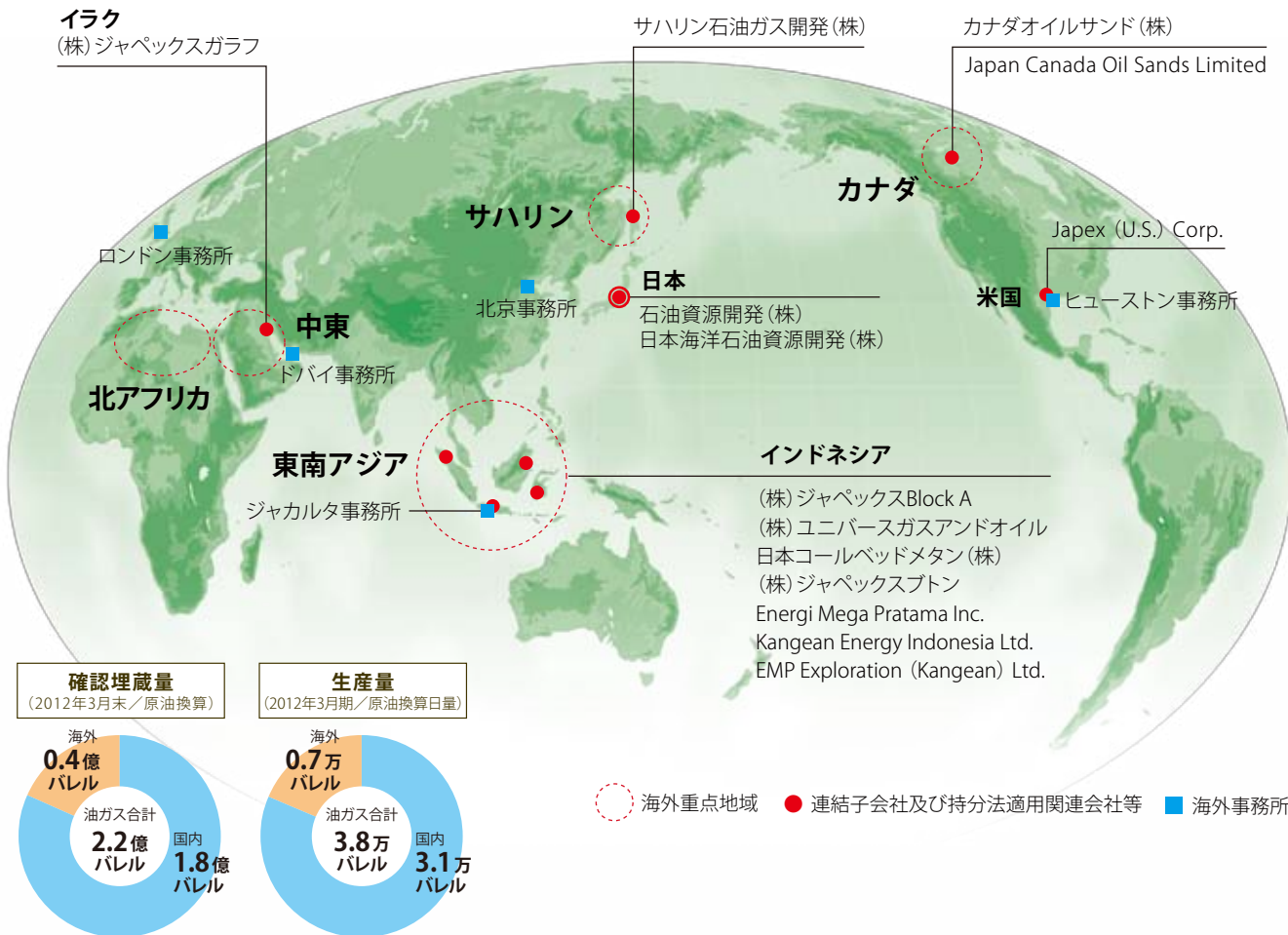
2013年3月期の中間配当金につきましては、前期と同様に1株当たり20円とさせていただきます。当社は、引き続き、中期事業計画の着実な実行を通じて持続的成長を図りながら、長期安定的な配当の維持、株主価値の向上に努めてまいります。

株主の皆さまには、今後とも一層のご支援をお願い申し上げます。

2012年12月

JAPEXの事業展開

生産・販売により減少する埋蔵量を維持・拡大し、長期に亘り安定的な石油・天然ガスの供給体制の更なる整備を図ることは、探鉱・開発・販売を事業の基盤とする当社にとって最も重要な課題です。当社は、国内、海外において、有望プロジェクトの発掘に努め、効率的な探鉱・開発を実施することにより、新規埋蔵量の発見・確保を目指しています。



(注) 上記確認埋蔵量と生産量は、それぞれ、当社、連結子会社及び持分法適用関連会社の、当社出資比率相当量です。

2012年

当社ホームページに掲載したニュースリリースの中から、主な事業トピックスをご紹介します。

May

5月

インドネシア共和国カンゲアン鉱区のテラン・ガス田からの生産開始

バリ島北方90kmの海域に位置するテラン・ガス田において、5月26日から天然ガスの商業生産を開始しました。本プロジェクトを通じてインドネシア国内向け供給に貢献することで、インドネシアからの日本向けLNG輸出の安定供給にも寄与することを目指しています。



August

8月

北海道での原油産出テスト成功

勇払(ゆうふつ)油ガス田において、2012年6月から探掘井を掘削してきましたが、産出テストを行った結果、日産250klの原油の産出に成功しました。今後、本井の結果等を踏まえ、開発・生産の可能性を追求していきます。



米国テキサス州シェールオイル開発プロジェクトへの参入

米国テキサス州でのシェールオイル開発プロジェクトに参入すべく、当社の子会社であるJAPEX (U.S.) 社を通じて、米国の石油会社から、約27千エーカー(約1億926万m²)の鉱区権益の5%を取得しました。

世界銀行バイオカーボンファンドからの世界初のCO₂クレジット取得

世界銀行の「バイオ炭素基金(バイオカーボンファンド)」が支援するプロジェクトのうち、ブラジルにおける再植林プロジェクトから発生するCO₂クレジット(約5万トン)を取得しました。当社は、同ファンドを通じて、地球温暖化防止に寄与するとともに地域社会の環境改善に貢献していきます。

October

10月

新潟県での天然ガス産出テスト成功

片貝(かたかい)ガス田において、2012年4月から探掘井を掘削してきましたが、産出テストを行った結果、日産約29万m³の天然ガスと約33klのコンデンセート(原油)の産出に成功しました。今回のテスト結果に基づいて評価作業を実施し、生産開始に向けた準備を進める予定です。(表紙写真参照)



秋田・女川(おんながわ)層タイトオイル(鮎川シェールオイル)実証試験

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構の支援を受けて、当社の鮎川油ガス田において実証試験を実施し、日本で初めてシェールオイルを採取しました。現在、評価作業中です。

特集ページへ

おんながわ 秋田・女川層タイトオイルの 実証試験について

秋田県には、これまで数多くの掘削により原油の存在が確認されたものの、従来の技術では取り出しにくく、商業的な生産は出来ないと判断された油層が多くありました。その典型が、秋田県に広く分布する女川層でした。

当社は、女川層と組成等が類似している米国カリフォルニア州のモンテレー層でシェールオイル開発が進みつつあることに着目し、モンテレー層の開発技術を応用した女川層での実証試験に着手しました。

実証試験を実施

10月初旬、当社の既存坑井（鮎川油ガス田）において酸処理^(※)による実証試験を実施し、10月3日、日本で初めてシェールオイルを採取しました。

今後の予定

今後は、2013年前半にかけて今回の実証試験で得られたデータの評価作業を行なったうえで、2013年後半以降の作業について検討する予定です。

世界的にエネルギーソースの多様化が進む中、日本においても、供給ソースの一端を担うべく、環境への負荷低減に努めながら、秋田県でのタイトオイル開発の可能性を追求していきます。

さらに、米国テキサス州において権益を取得したイーグルフォード層においても、シェールオイル開発に関する技術等の習得に努めています。当社は今後とも国内外において更なる新規案件の追求及び埋蔵量の拡充を目指していきます。

(※)酸処理：酸を油層と接触させたり、油層中に注入することにより、油層障害を取り除き、油層本来またはそれ以上の生産性を得るために行われる方法。





【女川層露頭】所在地：秋田県由利本荘市

《用語解説》 タイトオイル≡シェールオイル？

タイトオイルとは、緻密(タイト)な油層に閉じ込められている原油。取り出しにくく、従来の技術では採掘ができなかったため、メタンハイドレートなどと並んで“非在来型資源”と呼ばれます。一般的にシェールオイル(頁岩(けつがん: シェール)という岩盤に閉じ込められている原油)という用語も使われますが、当社の秋田・女川層でのプロジェクトについては、より広義な「タイトオイル」という用語を使っています。

米国においては、シェール層から天然ガスを取り出す技術が確立し、生産が急増、その結果として天然ガスの価格が大幅に下がる、いわゆる“シェールガス革命”が起きています。

そして、天然ガスが安価になる一方で、原油は高値で取引されることから、第2波として、シェールガス開発の技術を利用した、タイトオイルの開発にも高い注目が集まっています。

こうして、以前は採掘技術がなく手付かずとなっていたタイトオイルは、昨今の技術革新並びに原油高により、採算性が取れるようになってきました。

タイトオイル
(広義)

シェール
オイル

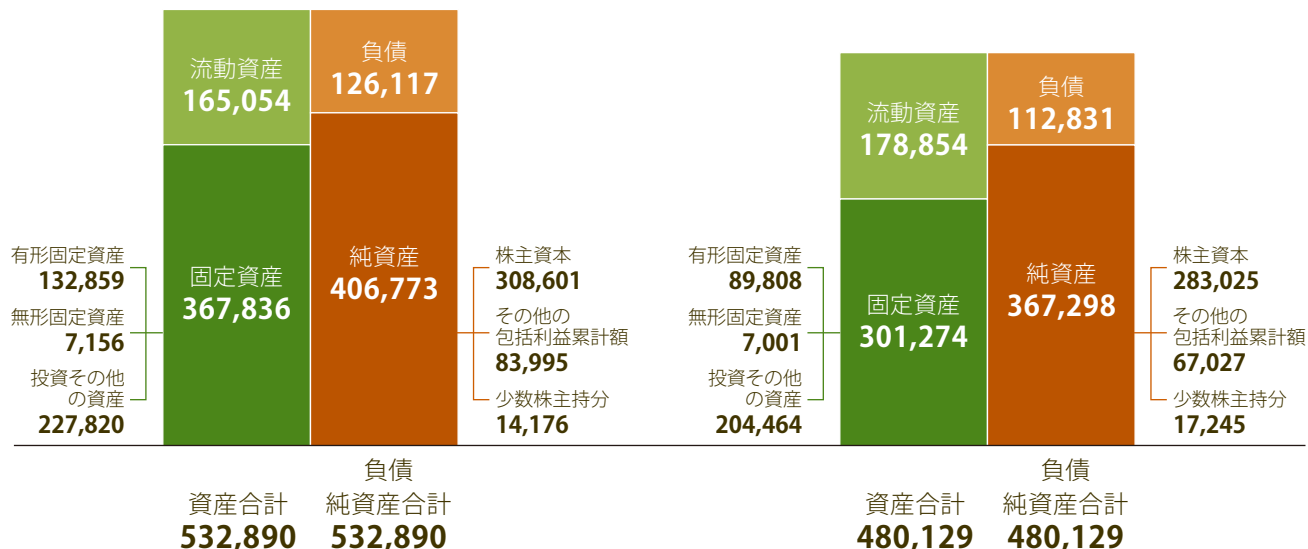
連結財務諸表

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

前期末 (2012年3月31日)

当第2四半期末 (2012年9月30日)



総資産について

現金及び預金、有価証券などの流動資産は増加しましたが、北海道における勇払油ガス田に係る事業用資産の減損損失の計上による固定資産の減少などにより、前期末532,890百万円と比較して52,761百万円減少の480,129百万円となりました。

負債について

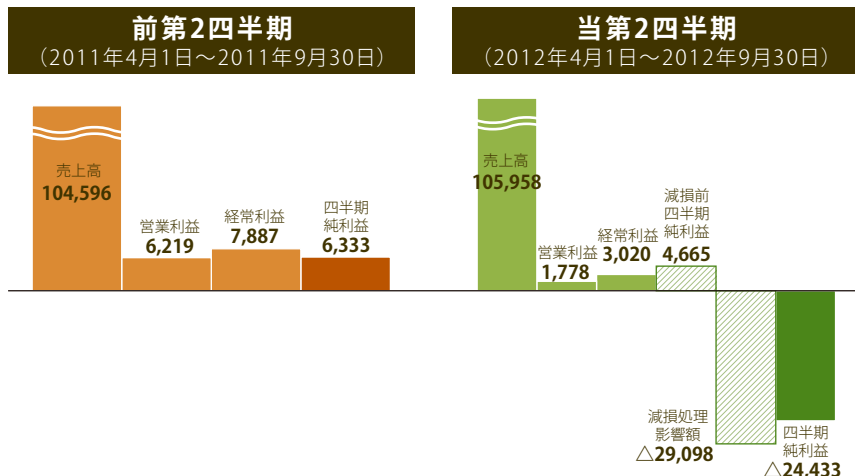
繰延税金負債や長期借入金の減少などによる固定負債の減少により、前期末126,117百万円と比較して13,286百万円減少の112,831百万円となりました。

純資産について

四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少及びその他有価証券評価差額金の減少などにより、前期末406,773百万円と比較して39,475百万円減少の367,298百万円となりました。

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

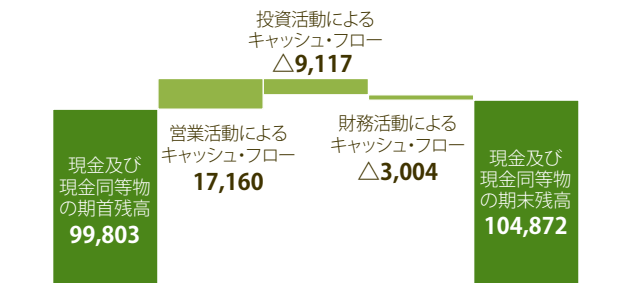


主な変動要素

国内及び海外での探鉱費が増加したことなどにより、営業利益、経常利益は前年同期に比べてそれぞれ減益となりました。特別損益に勇払油ガス田に係る事業用資産の減損損失を計上したこと等により、四半期純利益においては、前年同期比30,766百万円減益のマイナス24,433百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(2012年4月1日～2012年9月30日) (単位:百万円)



キャッシュ・フローについて

期首における現金及び現金同等物99,803百万円に対して、営業活動の結果得られた資金は17,160百万円であり、国内外の投資活動により9,117百万円、財務活動により3,004百万円の減少があり、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は104,872百万円となりました。

2013年3月期 通期業績予想

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期 予想		
		減損前	減損処理影響額	減損後合計
売上高	230,638	222,228	-	222,228
営業利益	15,045	7,907	2,397	10,304
経常利益	22,159	16,419	2,436	18,855
特別損益	311	2,281	△37,031	△34,750
当期純利益	17,027	15,749	△27,380	△11,630

より詳細な財務情報については
ホームページをご覧ください。

japex ir 検索

<http://www.japex.co.jp/ir>

会社概要

会社概要 (2012年9月30日現在)

商号	石油資源開発株式会社
英文社名	Japan Petroleum Exploration Co., Ltd. (略称 JAPEX)
本社所在地	東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー
設立	1970年4月1日
資本金	14,288,694,000円
従業員	1,758名(連結)
主な事業内容	石油、天然ガス及びその他のエネルギー資源の探査、開発、販売とこれらに関連しての掘削等の請負事業
主な事業所	本社、北海道鉱業所、秋田鉱業所、長岡鉱業所、技術研究所、ロンドン事務所、ドバイ事務所、ヒューストン事務所、北京事務所、ジャカルタ事務所

主な子会社及び関連会社 (2012年9月30日現在)

白根ガス(株)	Japan Canada Oil Sands Limited
(株)地球科学総合研究所	カナダオイルサンド(株)
(株)物理計測コンサルタント	(株)ジャベックスBlock A
エスケイエンジニアリング(株)	(株)ジャベックスブトン
秋田県天然瓦斯輸送(株)	Japex (U.S.) Corp.
エスケイ産業(株)	(株)ジャベックスガラフ
(株)ジャベックスパイプライン	日本コールベッドメタン(株)
北日本オイル(株)	(株)ユニバースガスアンドオイル
(株)ジャベックスエネルギー	Energi Mega Pratama Inc.
北日本防災警備(株)	EMP Exploration (Kangean) Ltd.
日本海洋石油資源開発(株)	Kangean Energy Indonesia Ltd.
(株)ジオシス	Diamond Gas Netherlands B.V.
(株)テルナイト	
東北天然ガス(株)	
北九州エル・エヌ・ジー・ローリー販売(株)	
日本海洋掘削(株)	

取締役、監査役及び執行役員 (2012年9月30日現在)

代表取締役会長	棚橋 祐治	常勤監査役	藤井 健
代表取締役社長 代表執行役員	渡辺 修弘	常勤監査役	石関 守男
代表取締役副社長 執行役員	佐藤 弘一	監査役	角谷 正彦
専務取締役執行役員	石井 敏夫	監査役	池田 輝三郎
専務取締役執行役員	揖斐 敏夫	常務執行役員	佐久間 弘二
常務取締役執行役員	斉藤 満一	常務執行役員	檜 洋介
常務取締役執行役員	松本 潤一	常務執行役員	三宅 茂典
常務取締役執行役員	小椋 伸幸	執行役員	井上 圭典
常務取締役執行役員	森谷 信明	執行役員	黒田 徹泰
常務取締役執行役員	大和 均裕	執行役員	増井 和彦
常務取締役執行役員	中山 一夫	執行役員	大関 卓彦
常務取締役執行役員	荻野 清光	執行役員	川中 元史
常務取締役執行役員	深澤 光雄	執行役員	兵藤 尚久
取締役	河上 和雄	執行役員	井上 元啓
		執行役員	伊藤 啓誉
		執行役員	平田 敏幸

(注) 1. 取締役 河上和雄は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。 2. 監査役 角谷正彦及び池田輝三郎は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式の状況

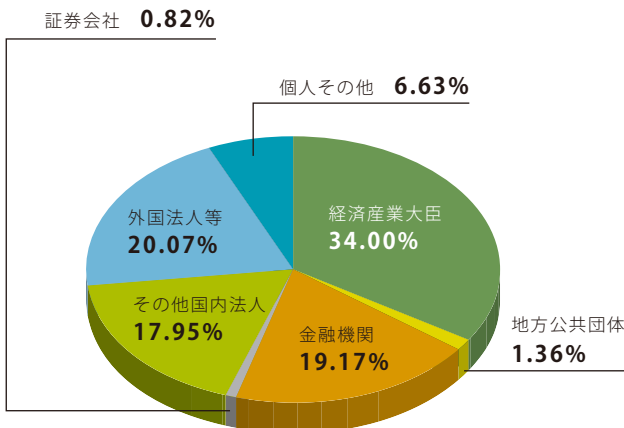
株式の状況 (2012年9月30日現在)

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	57,154,776株
株主数	16,773名

大株主 (2012年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
経済産業大臣	19,432,724	34.00%
国際石油開発帝石(株)	2,852,212	4.99%
日本スタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,500,600	4.38%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	2,020,000	3.53%
J F E エンジニアリング(株)	1,848,012	3.23%
J X ホールディングス(株)	1,149,984	2.01%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	882,200	1.54%
ザチェスマンハッタンバンクエヌエイロンドン エスエルオムニバスアカウント	810,600	1.42%
(株)みずほコーポレート銀行	720,152	1.26%
伊藤忠商事(株)	698,000	1.22%

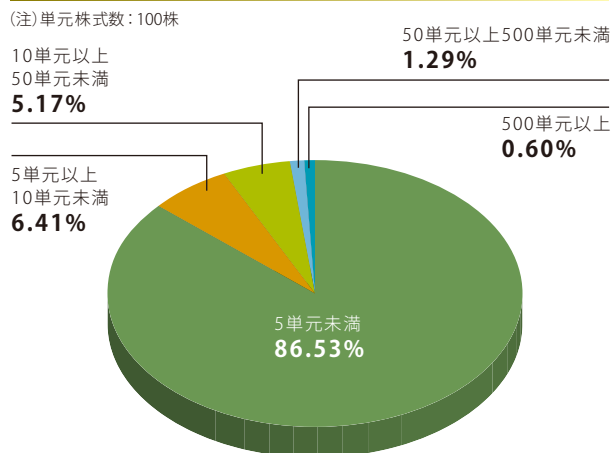
所有者別株式分布状況 (2012年9月30日現在)



株価(終値)・出来高の推移 (2011年4月1日～2012年9月30日)



所有株数別株式分布状況 (2012年9月30日現在)



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月開催

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

公告掲載新聞 日本経済新聞

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
(特別口座管理機関)

お問い合わせ先 **【証券会社に口座をお持ちの株主様】**
お取引先の証券会社にお問い合わせください。
なお、未払配当金のお支払いや支払明細の発行
については、下記のみずほ信託銀行の連絡先
にお問い合わせください。

【特別口座の株主様(証券会社に口座をお持ちでない株主様)】
みずほ信託銀行の下記の連絡先にお問い合わせ
ください。

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話:0120-288-324(フリーダイヤル)

単元株式数 100株

証券コード 1662(東証第一部)

JAPEX

石油資源開発株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー

【株主様窓口】 総務部文書グループ 電話:03-6268-7001

【IRに関する問い合わせ】 広報IR部IRグループ 電話:03-6268-7111

ホームページアドレス <http://www.japex.co.jp>

当社の事業内容が 動画でご覧いただけます。



アクセス方法

当社ホームページ

動画で見るJAPEX

ホームページアドレス

<http://www.japex.co.jp>

japex movie 検索



この冊子は、環境に配慮した用紙及びインクを採用し、針金を使わない「ECO綴じ」で製本しています。